

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

顧客満足度の向上を目指して より安全に より安く より良い 工事目的物を創りあげる

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	DX化を推進し、事務所及び現場でのコピー用紙の削減を図る。現場は特に遠隔臨場の技術を実装し、リモート型の働き方を推進する。	・コピー用紙カウンター年間合計数 2023年 44165枚→2026年 42840枚(3%削減) ・ガソリン使用量 2023年 452ℓ →2026年 438ℓ (3%削減)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	インターシップの受け入れ及び若者への企業の説明を積極的に推進し、建設業への関心を持つ機会を創出し担い手育成に向けた加速化に取り組む。	学生向け企業説明会 2023年 年1回 → 2026年 年2回 インターンシップ生の受け入れ 2023年 年1名 → 2026年 年2名
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	従業員の働きがい創出のため、有給休暇の取得の更なる促進及び残業時間の削減に取り組むなどウィークリースタンスの実施を図る。	・金曜日のノー残業デー 2023年 30日 →2026年 35日 ・個人別有給休暇の取得率 2023年 平均44%→2026年 平均50%

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

発注者(国、県、市等)が求める月単位の週休二日の取得やCCUS等の要求事項に追隨して、積極的に取り組んでいく。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	遠隔操作(ウェアラブルカメラ)等による遠隔臨場を行い、現場へ出向く往復時間と現場管理業務の省力化	2020年のガソリン使用量 528ℓを2024年には5%削減
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	社内会議においてTeamsを利用することで、車での往復を短縮でき、目標を達成することができた。	(2023年6月～2024年5月) 452ℓ →14.4%削減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	事業や地域への被害を防止・軽減するための気象現象や災害に対する事前防災対策	事務所や現場単位(工事は現場毎)で2024年まで毎年1回避難訓練を実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	本社では、避難訓練の実施に加えて、懐中電灯等の災害対策グッズを準備したり、非常食を調達したりと、防災対策準備を行うことができた。	事務所や現場単位で毎年1回以上の避難訓練を実施
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	女性職員活躍やワークライフバランスの推進	2024年までに、年間の月平均残業時間10時間以内・年間の平均休日出勤5日以内
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	個人別の残業時間や休日出勤回数を社内共有ファイルで全従業員が確認できるようにしたことで、互いに声を掛け合うようになり、ワークライフバランスを意識するようになった。よって、目標達成へと繋がった。	(2023年6月～2024年5月) 平均残業3.7時間 平均休日出勤4.8日

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**